



会長挨拶

「 年頭にあたり 」

細胞検査士会北海道支部 会長 中村厚志

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまして実り多く充実した1年となりますよう心からお祈り申し上げます。

就任挨拶でも述べましたが、280名を超える全国でも7番目に多い会員数でもある広い北海道内での情報伝達の迅速化と効率化に向け、役員体制の再構築とホームページの見直しを行ないました。事務局長に情報源を一本化し、道内役員への発信をお願いしました。日本細胞診断学推進協会代議委員会報告や細胞検査士会役員会報告、細胞検査士会支部代表者委員会報告、細胞学会の公益社団法人関連情報などの情報を発信してきました。しかし、会員一人一人に確実に届いたかについては大きな疑問符がつきます。

今年の大きなテーマの一つとしては、道内会員とのメールでの情報交換の可能性について検討してまいります。また、ホームページ活用による迅速で豊富な情報提供を目指して取り組んでまいります。今年で創刊から10年目になる情報誌「せるさいくる」を年2回発行していますが、やはり迅速性には課題があります。会員の皆さんが習慣的に道支部ホームページを閲覧し、その補完紙として「せるさいくる」を目にしていだけるような紙面作りが必要となってきます。皆様の率直なご意見をお聞かせください。

昨年4月にLOVE49街頭啓発活動、10月には札幌臨床検査技師からの協力要請で「検査 de フェスタ」での細胞検査士アピール活動を皆様の協力のもと行ないました。学術的には、プレパラートサーベイ、LBC標本の鏡検実習、甲状腺・唾液腺ワークショップの誘致開催（1月26日～27日）、また各地区でも様々な取り組みが行われました。

今年度も残すところ、第25回細胞診従事者講習会のみとなりました。今回は特別講演に奈良県立医科大学の大林千穂先生をお招きして「肺癌の治療；肺癌治療の最先端とそのための診断」と題し、ご講演をいただきます。また、午後からのシンポジウムのテーマも「肺癌細胞診の最前線」とし、細胞検査士3名と細胞専門医1名で開催します。多くの会員の参加をお待ちしております。

今年はいよいよ日本臨床細胞学会がNPO法人から公益社団法人へと移行いたします。細胞検査士の正会員と準会員、各都道府県細胞学会と公益法人との関係、細胞検査士の立場や役割など課題点や疑問点が多くあります。今まで以上に、学会などの動向について注意深くみていく必要があります。そして、それらの情報は逐次、皆様に届けたいと思います。

また、昨年は細胞検査士会役員選挙、会長・副会長選挙が実施され、新会長には石井保吉さん、副会長には伊藤仁さんと是松元子さんが選出されました。学会本体が大きく変わろうとしている今、細胞検査士会も一致団結して多くの課題を取り組まなければならない時です。新会長のもとで協力し、知恵を出し合い、現在と将来に向け夢のある細胞検査士会、日本臨床細胞学会を作り上げていきましょう。

最後になりますが、この1年、充実した有意義な活動を通じて会員皆様に様々な情報や技術提供できるよう行なってまいります。より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

第51回 秋期大会(新潟) 学会見聞録



「第51回 日本臨床細胞学会秋期大会に参加して」

岩見沢市立総合病院臨床検査科 築城裕和

飛行機嫌いの自分には恐怖の幕開けでした。

千歳空港の発着口からバスで出発し、飛行場の果てまで連れていかれ、そこに待っていたのは小さなプロペラ機。大丈夫、大丈夫と自分に言い聞かせるものの、不安を煽る様にプロペラが回転しだすと同時に大きく揺れる機体、離陸直後から大量に吹き出す大粒の汗を握りしめながらようやく新潟空港にたどりつきました。

翌11月9日学会初日、午前中は婦人科のワークショップを中心に出席し、午後からは全国学会初の試みであるAP(アンサー・パッド)を用いた講演に出席しました。質問は簡単なアンケートの様なものでしたが、手元にボタンの付いた機械を持ち、そのボタンを押すことによってリアルタイムに会場の解答が集計されるシステムでした。

諸先輩方に誘われ、初めて懇親会にも出席しました。おいしい料理と当地の日本酒を食しながら、信濃川から船上花火を打ち上げる(一瞬で終わりましたが・・・)素敵な演出も感動的でした。

2日目の午前中はポスター発表や乳腺の講演に出席しました。ポスター発表は当然のことながら様々な症例や検査法などが展示されており、興味深く拝見しました。なかには自分の勉強不足を痛感させられる症例もありました。

午後からは要望講演やワークショップに参加したのち、またAPを片手にスライドカンファレンスの会場へ。普段見慣れない液状処理された標本に戸惑いながら全てが終了すると共に、秋期大会も閉幕しました。

今回の学会で得たものは多く、とても有意義な2日間を過ごすことができました。またそれと同時に、自分自身のスキルアップのためにもっともっと勉強が必要なことも悟りました。

翌日、この経験を糧に明日から仕事を頑張るぞという思いを胸に新潟空港へ出発。そんな思いを吹き飛ばす様に、再び自分を待っていたのはプロペラ機。初日同様大量の汗を握りしめながら、次回からはJRで行こうと固く胸に刻みしました。

今後の全国学会開催予定

- 第54回春期大会(東京) 平成25年5月31日(金)～6月2日(日)
グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール
- 第52回秋期大会(大阪) 平成25年11月2日(土)～3日(日)
大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪
- 第55回春期大会(横浜) 平成26年6月5日(木)～7日(土)
パシフィコ横浜

- 第53回秋期大会: 山口県下関市
- 第56回春期大会: 鳥取県

訃報

中野 成紀さん(市立旭川病院)

11月7日 死去されました。

ご冥福をお祈りいたします。

2012年細胞検査士認定試験合格者

おめでとう 新たな仲間たち

清水 知浩 さん (北大病院病理部) 望月 沙苗 さん (北大病院病理部)
福田 有志 さん (札幌東徳州会病院) 斉藤 史絵 さん (札幌東徳州会病院)
渡辺 真央 さん (製鉄記念室蘭病院) 井村 美穂 さん (中村記念病院病理)
塚原 武留 さん (ジェネティックラボ) 益田 紗季子 さん (札幌厚生病院)
小野 菜津美 さん (札幌社会保険総合病院)

細胞検査士認定試験合格者から一言

ジェネティックラボ

塚原 武留

私は、一次、二次試験ともに初めての受験でした。試験直前までは一日の仕事が終わってから、そして休日もできる限り多くの標本を見るよう心がけ、試験前日には験担ぎにカツ丼を食べて試験に臨みました。仕事が終わってからの勉強は大変でしたが、結果が発表された日、これまで頑張ってきて本当によかったと思えた瞬間でした。これからも日々研鑽に励み、多くの場で貢献できるような細胞検査士を目指して頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。最後に、これまで御指導下さいました方々、及び先生方、そして同じ道を目指して一緒に勉強した仲間に関心から感謝しています。本当に有難うございました。

札幌社会保険総合病院 検査部 小野 菜津美

昨年度新入職員として病理部に配属になり、細胞検査士を目指してきました。最初は何を勉強したらよいかも全く分からない状態でしたが、先輩方のご指導のおかげでなんとか1回で合格することができました。また、細胞検査士を目指す仲間と共に勉強できたことも大きな力になりました。資格を取得したことに慢心せず、一人でも多くの患者様の役に立てるよう日々努力していきたいと思っております。これからよろしくお願い致します。

検査 de フェスティバル終了 道央地区会が参加協力

札幌臨床検査技師会主催の「検査 de フェスティバル」が昨年10月に札幌駅前通地下歩道空間で開催され、昨年に引き続き細胞検査士会北海道支部も共催し、道央地区会の会員が参加協力しました。

11時～14時までのイベントでしたが、開始10分前から行列が出来、配布資料も開始後2時間程度で底をつく盛況ぶりで、血糖などの検査体験者も1300人を越えるものでした。細胞検査士会では乳がん模型を使った触診体験やがん予防の啓発活動を行いました。

「検査 de フェスティバルに参加して」

道央地区会代表 徳永 祐一

昨年10月7日に、札幌技主催「検査 de フェスティバル」に参加をさせていただきました。主に子宮頸癌に関するパネル展示やリーフレットの配布などを行いました。関心を持ってパネルを見る方や話しを聞いていただける方がいたのに対し、話しには聞いたことがあるけどよくわからないという方まで様々で、この差が大きいというのが率直な感想でした。啓蒙活動は決して簡単なことではないのですが、これからも継続していくことが大事なことだと感じました。

ホームページを活用しましょう！！

日本臨床細胞学会のホームページや細胞検査士会、細胞検査士会北海道支部会のホームページをご覧になっていませんか。最新の情報がリアルタイムに確認できるよう役員一同努力しておりますので是非活用してみてください。特に北海道は広大な地域であり個人への情報や連絡が簡単に取れない状態にありますので、どんどん活用して情報を入手して下さい。またホームページに掲載を希望される方は役員までご連絡ください。ホームページは会員みんなのものです。みんなで有効に活用して行きましょう。

(文責 野崎)

今後の予定

●第275回道央地区会例会

2013年1月23日(水) 18:30~JR札幌病院5階講堂

症例検討(婦人科症例)

講演「臨床現場におけるHPVの扱いと最近の話題」杉村先生(JR札幌病院婦人科)

<詳細は細胞検査士会北海道支部のホームページにアップしています>

●第5回甲状腺&唾液腺ワークショップ

2013年1月26日(土) 14:00~17:30 講義 札幌医大教育北棟2階第一講義室

27日(日) 9:00~12:30 実習 札幌医大教育北棟4階組織実習室

<プログラムは細胞検査士会ホームページにアップしています>

●第25回細胞診従事者講習会

2013年3月3日(日) 9:30~17:00 札幌医科大学記念ホール

<プログラムは細胞検査士会北海道支部のホームページにアップしました>

●平成24年度細胞検査士会北海道支部総会

2013年3月3日(日) 12:30~13:00 札幌医科大学記念ホール

●第276回道央地区会例会・総会 3月予定

<編集後記>

昨年末から真冬が続き、各地区それぞれ強風、豪雪など天候に苦労しているのではないのでしょうか。細胞検査士会は昨年の選挙で全国役員も変わり、新たな体制がスタートする年です。また今年は学会も公益社団法人によいよ様変わりします。これに伴い学会の内容も変わるため、これまで以上に情報を入手しなければなりません。ホームページなどを活用して最新の情報を入手して、会員お互いに声掛け合い内容を確認し、共有して行きましょう。(野崎)